

## 第11回奈良ESD連続セミナー 概要報告

◇開催日時 平成29年2月16日(木) 19時～22時

◇会場 次世代教員養成センター2号館 多目的ホール

◇参加者 大西・池見(飛鳥小)、蔵前(真美ヶ丘第一小)、島(郡山西小)、中澤哲(平群北小)、石田(済美小)、河野(富雄第三小)、三木・山方(都跡小)、新宮(平城小)  
後藤田・堀口・北村・中澤(奈良教育大学) 計14名

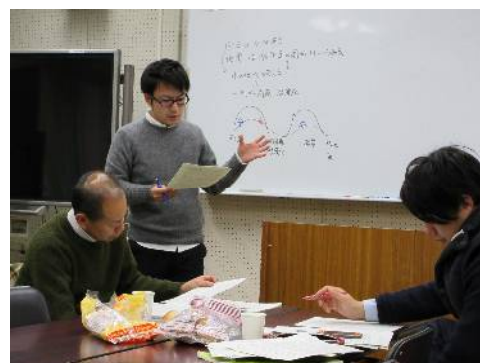
◇内容 ESD学習指導案の検討

### ①ESD・理科 自然と人がともに生きる社会へ：蔵前先生 修正ポイント

前は身近な公園との比較であったが、違いが大きすぎるので、理科の学習内容に焦点化した。

ユネスコエコパークの3つの機能を指標に校区の川を調べる。  
ESDの観点を詳述する。

3つの地域における人と自然の関わり方をもう少し記述する。利活用の具体例も記述することで、学習内容が明確化する。



### ②ESD・社会科 国土の森を未来へつなげよう：新宮先生 修正ポイント

ESDの構成概念の示し方：これでいい  
写真のキャプションの付け方

### ③ESD・算数科 動くものにも単位がある：堀口君

時間の学習の発展に奈良の鹿寄せを教材化することで、速さを感覚的にとらえることで理解を深める。

鹿の速さ、ホルンの音色でやってくる鹿の移動距離

鹿がよくいるところから、何分後に来るのかということ予想し、「鹿飛び出し注意」を呼びかける

一頭一頭の走ってくる鹿のスピードをスピードガンで計測し、どのあたりから来たのかという探究する楽しさを味わわせる。

鹿と車、鹿と観光客との衝突を防ぎたい。



### ④ESD・社会科 浜口梧稜の生き方から学ぶ：黒木君 修正ポイント

特になし。浜口梧稜というネタがいい

### ⑤ESD総合 地域のためにできること 中澤哲先生 修正ポイント

鳥取県の公助 → 共助 → 平群町の公助へ

連携性：共助への姿勢で見る

責任性：防災活動への参加意欲で見る

実際に体育館で避難所体験をする。寒さを体験することで、備蓄に対する意見がでるだろう。

倉吉と平群の公助に差はない。

公助があてにならない理由 すぐには駆けつけてもらえない。まず、自分たちでという意識が大切。

町への提案という発信

なぜ人は避難しないのか

心理的要因 正常化の偏見・認知的不協和 → 子どもならではの役割：率先避難者



#### ⑥ ESD理科 発電ワークショップ 後藤田君

2.5時間単位で4回実施する（市の科学教室での実施を想定）

・身近な電気・手回し発電機 どれくらい発電できているのか

・手回し発電機の発電量と身近な家電で使用している電力量は違いすぎる → 風力発電

扇風機を使った風力発電 ミニカーの走る距離を測定

・太陽光発電

・未来の発電方法 回転するもので考える 運動エネルギーを電気エネルギーに変換させる  
発電の指標 効率：走行距離÷回転数

身近に垂れ流しになっているエネルギーに気づかせる



#### ⑦ ESD総合 見つけよう！奈良の「すごい人」 石田先生

・夏休みの自由研究 → もっとすごい人がいたようだ！

どうして3つのお墓に納められているのか 北山十八間戸を調べる

どうして浄土寺の住職は忍性さんの絵本をつくったのか

・忍性さんの「ここはすごい！」絵本の中の一文を各自が選ぶ

・班ごとに「奈良のすごい人」をテーマに絵本作りをして発信した



#### ⑧ ESD総合 忍性さんの生き方から学ぼう 中村先生

たくさんハンセン病患者の救済を行った

33000着の服を分け与えた

NIEとの融合

友達の手記をもとに、自分の新聞記事にも掲載する（相互評価）

忍性さんの生き方から自分の生き方を振り返る

#### ⑨ ESD総合 十種の大願について知る 今井先生

自分たちの三種の大願をつくり、それを守る。自分の生き方を振り返る。

⑩ ESD・社会 五條市の郷土色「柿の葉寿司」 島先生

柿の葉寿司を通して、五條市の気候・土地の様子・交通・文化・歴史を理解する

4つのグループ学習

柿づくりが盛んだから（気候・地形）

昔から作られていた（伝統・歴史）

昔から食べられていた（伝統文化）

鯖が手に入るから（交通・産業）

柿の葉寿司の学習に陥らないように あくまで五條市の特色を押さえることを忘れずに

次回は3月10日（金）19時から